

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 19 日 作成
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		合志市祭実行委員会助成事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気であふれるまちづくり			所属部	産業振興部	課長名 米澤 俊一
	施策	14	市民参画によるまちづくりの推進			所属課	商工振興課	担当者名 渡辺 良輔
	基本事業	40	地域づくりネットワークの推進			所属班	商工・企業誘致班	(内線) 1251
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	成果優先度評価結果 8	
	1	7	1	2	10327		コスト削減優先度評価結果 11	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細、期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	市民交流と産業振興を目的に、合志市祭実行委員会へ助成をし、祭の計画から運営まで自主的な活動の支援を図る。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	補助金申請書の受付、交付決定、支払、実績報告
【主な予算費目】	補助金(21年度10,000,000円)→(22年度9,000,000円)
【意見や要望】	旧町時代の祭をそれぞれの地域で実施していくべきとの意見があった。 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 伝統的なものではなく、合志市特有の企画を検討し、新たな合志市ならではの祭にして、市民だけではなく、他地域からも来場してもらい、市のイメージアップと知名度の向上に繋がるようにすべきであるとの意見があった。一方で、多額の費用を投じてあんな広い会場で行う必要があるのかとの意見もあった。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO) 合志市祭り実行委員会への補助金の支出	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 合志市祭り実行委員会への補助金の支出
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 ⇒ア:申請、受付、決定、実績に要する時間	(単位) H イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 実行委員会への補助金支出	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア:実行委員会との協議時間と処理時間数 H ⇒イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 祭り実行委員会へ補助を行うことによりスムーズな運営を図る	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア:実行委員会の団体数 団体 ⇒イ
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 過去3年間の実績を踏まえ、更なる市民の融和を図るべく実行委員会への補助を継続する	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込
④ 活動指標	ア	H	560	50	50	50	50	50	
	イ								
⑤ 対象指標	ア	H	200	80	80	80	80	80	
	イ								
⑥ 成果指標	ア	団体	18	25	25	25	25	25	
	イ								
投資 入 量	事業 内 訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	一般財源	千円	10,000	10,000	10,000	9,554	9,000	9,000	9,000
	(A) 事業費計	千円	10,000	10,000	10,000	9,554	9,000	9,000	9,000
	(A)のうち指定経費	千円							
	(A)のうち時間外、特勤	千円							
人件 費	正規職員従事人数	人	6	5	5	5	5	5	5
	延べ業務時間	時間	560	130	150	150	120	120	120
	(B)人件費計	千円	2,223	520	597	597	478	478	478
トータルコスト(A)+(B)		千円	12,223	10,520	10,597	10,151	9,478	9,478	9,478

総トータルコスト	
全体計画	
～ 年度	
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

合志市

事務事業名	合志市祭実行委員会助成事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

実行委員会で補助金を有効に活用し、大勢の参加者で賑わった祭りが出来た。計画・実行・実績報告まで実行委員会主催で問題なく出来たが、補助金を支出することに関しては、経費削減を図ることも検討すべきである。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善(有効性改善)
 事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善)
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

事務局を商工会や地域団体へ移行することを検討する

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持	○		
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

祭りの開催時期、場所、目的やコンセプト等、祭りの在り方そのものを原点に戻って検討する必要がある